

県産木材の利用促進に関する実施状況について

1 要旨・目的

平成30年10月9日に公布・施行された「広島県県産木材利用促進条例」に基づき、県産木材の利用促進に関する取組を進めており、令和4年度の実施状況についてとりまとめを行った。

2 概要

(1) 実施状況

公共建築物等での木材利用に取り組み、県・市町ともに木造化・木質化が進むとともに、新たに付加価値の高い製品開発や販路拡大などに取り組むことで、県産木材の利用促進が図られた。

ア 公共施設等における利用促進

(ア) 公共建築物の木造化・木質化

県営事業については、木造化・木質化率ともに100%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	3	3	100%	278 m ³	109 m ³
木質化	7	7	100%	109 m ³	28 m ³

市町営事業については、木造化率67%、木質化率100%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	24	16	67%	1,104 m ³	340 m ³
木質化	35	35	100%	529 m ³	153 m ³

注) 木造化の対象件数は、3階建て以下で延床面積3,000 m²以下の建築物（求められる機能等から木造化が困難なものを除く）を対象とする。木質化の対象件数は、木造以外の建築物（求められる機能等から内装施工がないものなどを除く）を対象とする。



県営：観音マリーナ海浜公園管理棟（木造化）



市営：庄原市民会館（木質化）

(イ) 公共土木工事等での木材利用

治山事業及び林道事業等における工作物及び仮設資材等に県産材を利用した。

取組名	取組内容	木材利用量	うち県産材
公共土木工事での 県産材の利用	治山事業及び林道事業等において、 筋工・木柵工等の工作物や、工事看板等 の仮設資材に県産材を利用した。	49 m ³	37 m ³

(ウ) 備品等での木材利用

G7 広島サミット国際メディアセンター等で配布した木製コースターの作成や、県議会の委員会室における備品に県産材製品を利用した。

取組名	取組内容	利用実績
備品での県産材製品の導入	国際メディアセンターや関連イベントで配布した木製コースターを作成	2,000 セット (ヒノキ、サクラ、モミジ)
	県議会の委員会室等において、県産材を利用した机・椅子を導入	机 69 脚、椅子 151 脚、応接セット 83 脚



木製コースター



県議会委員会室机・椅子

イ 公共施設以外の建築物における利用促進

木造住宅に県産材を利用する取組を支援するとともに、店舗や事務所等の非住宅建築物への県産材利用の促進に取り組んだ。

建築士や施主からの木造化・木質化に関する様々な相談に対応するため、(一社) 広島県木材組合連合会にワンストップの相談窓口を設置した。

取組名	取組内容	県産材利用量等
県産材消費拡大支援事業の実施	住宅等に県産材を利用する取組への助成	25.3 千 m ³
相談窓口の設置	相談窓口を設置し、建築士や施主からの木造化・木質化の相談に対応	55 件

ウ 新たな用途の開発と販路の拡大

県産材の高付加価値利用につながる新たな製品開発や販路拡大の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
県産材製品の開発を支援	家具等の県産材製品を開発する事業者に対する支援を行い、7 件を採択	—
首都圏における県産材製品の展示を支援	東京都主催の木製品展示商談会「WOOD コレクション 2023」に、県内の企業・団体 7 者が建材、家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和 5 年 1 月 31 日～2 月 1 日	東京都 (ビッグサイト)
	東京都が運営する木製品展示施設に、県内の企業 2 社が家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和 4 年 8 月 24 日～9 月 7 日 令和 5 年 1 月 5 日～1 月 17 日	東京都 (モクション)

エ 木質バイオマスの利活用の促進

地域内で完結する小規模な木質バイオマスの熱利用の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
ひろしまの森づくり事業	里山林の木質バイオマス活用に取り組む団体に薪割機の導入を支援	東広島市、廿日市市
里山バイオマス利用拡大支援事業	大学生を対象とした環境学習や、大学生、企業、団体等が参加した交流研修会を実施	広島市、呉市、安芸高田市、北広島町

オ 普及啓発

10月の「木材利用促進月間」での記念講演会の開催や、木材利用に関するコンクールへの応募の働きかけ、木材の良さや利用の意義を学ぶ木育活動の支援を行い、県民等への県産材利用の機運醸成に取り組んだ。

区分	取組名	取組内容	場所
県産材に関する情報発信	講演会の開催	「木材利用促進月間」の取組として、(一社)広島県木材組合連合会と協力し、旧市民球場跡地及びサッカースタジアム整備での木造化・木質化をテーマとした記念講演会を開催し、93名が参加	広島市
	「ウッドデザイン賞2022」受賞【主催：ウッドデザイン賞運営事務局】	木の良さや価値を再発見させる製品や取組について表彰する「ウッドデザイン賞」への応募を広く働きかけ、県内から2点が受賞し、ひろしま木づかい推進協議会等で紹介	
木育の推進	木育イベントの開催	小学生等を対象とした木育活動を支援し、6市町（広島市、福山市、三次市、庄原市、府中町、安芸太田町）において開催され、約9千人が参加	広島市他5市町



県産ヒノキをエントランスに利用した民間施設（東広島市）（ウッドデザイン賞）



県産ヒノキ等を利用した玩具セット（ウッドデザイン賞）

カ 人材育成

県内の建築士が中心となり、平成28年7月に森林林業・木材産業等の関係者により設立した「ひろしま木造建築協議会」と連携して、木造で設計が提案できる人材の育成に取り組んだ。

取組名	取組内容	場所
木造建築セミナー	木造化を提案できる建築士を育成するためのセミナーを開催 ○期日：令和4年9月7日～令和4年12月13日 ○参加者：26名	広島市、東広島市、北広島町
木造建築スクール	木造建築の担い手となる学生に、県産材利用の意義や、木材の特徴、木造設計の基礎などについて学ぶ機会を提供 ○期日：令和4年7月10日～令和4年9月17日 ○参加者：66名	広島大学、広島工業大学、近畿大学、安田女子大学
技術研修会	建築士を対象に、中大規模木造建築物の防耐火に関する技術研修会を実施 ○期日：令和4年7月12日 ○参加者：25名	広島市

(2) 今後の対応

更なる県産木材の利用促進に向け、次の取組を進める。

- 建築分野では、住宅での取組に加え、住宅以外の建築物での更なる木造化・木質化に向けて、木造で設計が提案できる人材の育成や、木造化・木質化に関する相談窓口を設置するとともに、県と民間事業者との県産材利用の促進に関する協定締結を進める。
- 市町が関わる建築物については、引き続き、木造化・木質化の促進に向けて、コスト削減や木材調達をテーマとしたワークショップ等を開催し、木造建築に対する市町職員の知識の習得と意識改革を図る。
- 幅広い分野での県産材需要を創出するため、引き続き、県産木材利用促進条例に基づき設立した「ひろしま木づかい推進協議会」と連携して、付加価値の高い家具等の県産材製品の開発や販路拡大に取り組む。